

事務事業名	文化振興事業			事業コード	10050800101		
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	藤田 諒子		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市文化未来会議設置要綱、坂井市全国文化芸術大会出場激励金支給要綱						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	全国大会に出場する市民に対し大会での活躍を激励することにより、文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を設置し、文化活動の振興を図る。						
	○需用費（消耗品、光熱水費等） 219千円 ○役務費（陶芸工房火災保険料） 7千円 ○使用料及び賃借料（土地借上料等） 172千円 【激励事業】 全国文化芸術大会等に出場1名につき5千円、団体については100千円を限度として支給する。 ○報償費（激励費） 230千円						

すぐに行ける改善提案	市民に周知・普及活動の推進を目指していきます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	広報誌や市のホームページの利用や各学校に周知・普及していきます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	文化未来会議の意見をいただき文化活動の振興を図ってまいります。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	文化未来会議を継続的に開催し、文化行政に対する提言をいただき、今後の文化行政に反映していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費			
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度	平成24年度	平成23年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	7,638千円	千円	千円		
			需用費	219千円	215千円	千円	千円		
			役務費	7千円	7千円	千円	千円		
			その他	406千円	80千円	千円	千円		
			事業費合計	632千円	7,940千円	千円	千円		
			人件費						
			正職員	0.70人	4,976千円	0.00人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円
	人件費合計	0.70人	4,976千円	0.00人	千円	人	千円		
	総事業費		5,608千円	7,940千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	40千円	40千円	千円	千円		
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円			
その他			592千円	千円	千円	千円			
一般財源			4,976千円	7,900千円	千円	千円			
財源合計		5,608千円	7,940千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	全国大会に出場する市民に大会での活躍を激励することにより文化活動の振興を推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現行予算を最大に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行ける改善提案	市民に周知・普及活動の推進を目指していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	文化未来会議の意見をいただき、文化活動の振興を図っていきます。			
目標年度 平成27 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
【事業の成果】 成果	全国大会出場者数	人	目標値 30 達成率	30 達成率	30 達成率	30 達成率
		実績値	56 186.67	16 53.33	25 83.33	20 66.67
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	文化団体補助事業			事業コード	10050800106
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	藤田 諒子
事業対象	(公財)丸岡文化財団、坂井市文化協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務(任意的なもの)
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	(公財)丸岡文化財団事業、坂井市文化協会事業
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団事業及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。				
	<p>【(公財)丸岡文化財団】 人件費及びまるおか子供歌舞伎事業に係る経費について補助することで、各種文化事業の企画・運営を行う(公財)丸岡文化財団を支援する。 ・(公財)丸岡文化財団運営補助金 25,554千円</p> <p>【坂井市文化協会】 文化協会の活動事業に係る経費について補助する。 ・坂井市文化協会事業補助金 2,600千円</p>				

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	28,154千円	23,215千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	28,154千円	23,215千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.27人	1,898千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.27人	1,898千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		30,052千円	23,215千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			30,052千円	23,215千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		30,052千円	23,215千円	千円	千円	千円	千円	千円			

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
文化活動事業数		件	目標値	130	達成率	130	達成率	130	達成率	130	達成率
			実績値	112	86.15	116	89.23	115	88.46	122	93.85
文化協会会員数		人	目標値	3050	達成率	3150	達成率	3150	達成率	3250	達成率
			実績値	2888	94.69	2909	92.35	2973	94.38	3027	93.14
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	団体の事業費補助については、補助対象経費の2分の1とし、事業内容によっては協賛金収入等の自動努力を行っています。
目標年度 平成26年度	
取組状況	国、県、及び文化活動助成企業への補助の申請が増加傾向にあり、文化団体の活動の活性化や、次世代への伝統文化の継承が見られました。
中長期的に取り組むべき改善提案	市民(若年層)がより多く参加できるよう、団体の運営を行う必要があります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	団体の目的を再度確認し、市民のニーズに合った運営を行なうようにしていきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	丸岡文化財団及び坂井市文化協会の実施する文化活動を支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	財団・協会が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度 平成27年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民(若年層)がより多く参加できるよう、団体の運営を行う必要があります。			
目標年度 平成27年度				

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	文化活動支援事業			事業コード	10050800111
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	藤田 諒子
事業対象	市民、坂井市文化協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	文化祭事業、公演事業、市民文化創造企画支援事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【前年度改善案に対する取組状況】

優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することで、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進していく。

事業の目的・事業の概要等

【坂井市民文化祭】
市民が日頃の文化活動の成果の発表と交流を図る文化祭を開催する（10月～11月）。総合開会式、4地区会場で開催。
・坂井市民文化祭事業委託料 4,981千円

【文化施設公演委託】
ハートピア春江及びひみくに文化未来館において文化公演を実施する。
・文化施設公演業務委託料 32,000千円

【市民文化創造企画支援事業委託】
市民グループが自主的に企画立案した事業を支援する。
・市民文化創造企画支援事業委託料 962千円

すぐにできる改善提案	文化祭事業は、現状のスタイルを継続しますが部門ごとの合同開催を働きかけることで実践を目指します。また、文化ホールでの公演事業については、それぞれのホールの特性を考慮した事業内容を検討していきます。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	文化祭事業では、市内高校生の作品展示を拡充し、これまで参加の少なかった年代層の取り込みを図りました。公演事業については、九頭竜音楽祭の開催など、オーディション形式からコンクール形式に変えて実施し、文化芸術の向上を図る事業を実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	公演事業の計画の際には、事業の趣旨・目的にふさわしい内容で実施できるように早くから十分協議を行っていきます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	公演事業の計画の際には、ハートピア春江、みくに文化未来館それぞれのホールの特性を考慮し、事業の趣旨や目的に相応しい内容で実施できるよう協議を行っています。

【事業の概要】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【事業の概要】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	37,943	千円	35,896	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	37,943	千円	35,896	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.40 人	2,844 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.40 人	2,844 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
	事業費	総事業費	40,787	千円	35,896	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		40,787	千円	35,896	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	40,787	千円	35,896	千円	千円	千円	千円	千円			

【所屬長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市の事業であるが文化協会等に委託して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案	文化祭事業は、現状のスタイルを継続しますが部門ごとの合同開催を働きかけます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	公演事業の計画の際には、事業の趣旨・目的にふさわしい内容で実施できるように早くから十分協議を行っていきます。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	市民文化祭作品展示出展数	点	目標値 5000 達成率	5000 達成率	5000 達成率	5000 達成率
		実績値 6041 120.82	5477 109.54	4874 97.48	4985 99.7	
成果	市民文化祭芸能発表出演者数	人	目標値 1400 達成率	1400 達成率	1400 達成率	1400 達成率
		実績値 1382 98.71	1395 99.64	1310 93.57	1348 96.29	
活動	市民文化祭来場者数	人	目標値 10000 達成率	10000 達成率	10000 達成率	10000 達成率
		実績値 12642 126.42	10859 108.59	10777 107.77	11673 116.73	
活動	公演事業入場料収入(ハートピア春江)	千円	目標値 8000 達成率	5370 達成率	6907 達成率	10047 達成率
		実績値 8500 106.25	5534 103.05	6803 98.49	12559 125	
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率

事務事業名	一筆啓上手紙資料館建設事業			事業コード	10050800116
所管部署	文化課	電話	0776-50-3164	記入者名	下口栄子
事業対象	市民、入館者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	日本最古の天守閣として知られる丸岡城及び「一筆啓上賞 日本一短い手紙」を紹介する資料館を建設し、歴史と文化の町の継承と、新たな手紙文化の創造、丸岡城観光活性化の拠点として整備を行う。				
	<p>（仮称）一筆啓上手紙資料館建設事業 日本一短い手紙の作品及び愛媛県西予市のかまぼこ板の絵とのコラボ作品等を展示する資料館を建設し、丸岡城、丸岡図書館との連携も視野に入れた整備を行う。</p> <p>木造2階建 建築面積698.97㎡ 常設展示室、企画展示室、2階丸岡城の見えるホール、中庭</p> <p>平成27年11月11日着工 完成予定平成27年7月31日</p>				

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	4,634	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	45	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	118,957	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	123,636	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.47	人	3,303	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	0.47	人	3,303	千円	人	千円	人	千円	
総事業費		126,939	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	12,054	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	80,100	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	31,482	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	3,303	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		126,939	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
工事進捗率		%	目標値	50	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	44.3	88.6						
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	平成27年3月末完成を目指して、建設を行っていましたが、建設地の変更などにより、平成27年7月末完成に変更します。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	現在平成27年7月31日完成、開館を8月に設定し、計画を変更して施工しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	これまでソフト事業で展開していた「一筆啓上賞 日本一短い手紙」の拠点として手紙文化を市内外に広くアピールし、丸岡城観光や地域活性化につながるよう、施設の多角的な活用を図っていきます。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	丸岡城観光との連携による丸岡城観光の滞留時間の延長や、手紙文化の発信拠点として、地域の人々が集い資料館を利用した文化振興事業の展開を図るため、将来的に資料館と丸岡城の指定管理について統合していきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	27年夏に完成、開館を目標に事業を推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現在の予算を最大限に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現在の事業を実施します。			
すぐにできる改善提案	27年夏に完成・開館できるよう関係機関との調整を行っていきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	27年夏に完成・開館できるよう関係機関との調整を行っていきます。			
目標年度 平成27 年度				

成果	工事進捗率	%	目標値	50	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	44.3	88.6						
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	文化の森・文化未来館管理運営事業			事業コード	10050805102
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	下口 栄子
事業対象	市民 施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	管理運営業務
根拠法令	有	地方自治法第244の2第3項及び各施設設置条例の規定			
根拠例規	有	坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例 坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例施行規則 みくに文化未来館条例 みくに文化未来館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			
事業の概要	文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化振興を図る。				
	市の文化活動の拠点施設として、指定管理者により適切な管理を行うとともに、修繕及び改修については、長期的な視野に立ち計画的に行う。				
事業の目的・事業の概要等	指定管理者 坂井市文化振興事業団 平成25年度～平成27年度 ■文化の森・文化未来館管理運営 176,915千円 ○需用費(施設等修繕料) 12,039千円 ○役務費(火災保険料) 205千円 ○委託料(指定管理(委託料)) 97,615千円 ○使用料及び賃借料(土地借上料) 3,820千円 (デマンド監視システム使用料) 140千円 ○工事請負費(施設改修工事費) 63,018千円 ○修繕負担金 78千円				

すぐに行ける改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、業務の見直しを行って管理内容の検討を行います。	
目標年度 平成26 年度		
取組状況	ハートピア春江大ホール屋上防水改修工事H126.9.20完成 ハートピア春江小ホール舞台照明設備改修H27.2.28完成 みくに文化未来館T型コンセント修繕工事H26.7.10完成	ハートピア春江非常用電源装置蓄電池改修工事H26.2.28完成 ハートピア春江大ホール屋上防水改修工事H26.9.20完成
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に対応した施設整備を計画的に行い、適正に管理運営ができるよう検討を行ってまいります。平成27年度は平成28年度以降の指定管理者の選定が行なわれますので、施設の形態や利用状況、将来の展望を考慮し選定を行ってまいります。	
目標年度 平成34 年度		
取組状況	みくに文化未来館外壁調査、修繕 ハートピア春江音響設備改修工事 ハートピア春江空調設備改修工事 みくに文化未来館舞台照明設備改修工事等	

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	97,615千円	94,400千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	12,039千円	5,625千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	205千円	205千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	67,056千円	76,054千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	176,915千円	176,284千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.45人	3,163千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.45人	3,163千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
	事業費	総事業費	180,078千円	176,284千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			13千円	1,500千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		180,065千円	174,784千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	180,078千円	176,284千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	老朽化した施設及び設備の状況を的確に把握しながら計画的な施設整備を行い、文化施設の拠点として指定管理者による管理運営を行ってまいります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	平成28年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	平成28年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	平成28年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行ける改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、業務の見直しを行って管理内容の検討を行います。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に対応した施設整備を計画的に行い、適正に管理運営ができるよう検討を行ってまいります。			
目標年度 平成28 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
成果	千円	目標値	13100	達成率 13000	達成率 12600	達成率 13670				
		実績値	10790	82.37	13354	102.72	12506	99.25	12310	90.05
成果	人	目標値	105600	達成率 108500	達成率 94800	達成率 91900				
		実績値	110055	104.22	159055	146.59	94650	99.84	148229	161.29
活動	%	目標値	40.6	達成率 42.0	達成率 41	達成率 42				
		実績値	49.2	121.18	37.1	88.33	40.6	99.02	49	116.67
活動	%	目標値	41	達成率 41	達成率 35	達成率 56				
		実績値	37.1	90.49	42.4	103.41	36.9	105.43	41.7	74.46
活動	%	目標値	26.3	達成率 27	達成率 27	達成率 45				
		実績値	19.3	73.38	21.6	80	25.5	94.44	26.8	59.56
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の概要】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

【事業の成果】

事務事業名	文化財保護審議会運営事業			事業コード	10050900101
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	青山 航
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、坂井市文化財保護審議会規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	新たな文化財の指定に関する諮問や調査、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。				
	文化財保護審議会の開催及び運営（委員数9人、任期2年） ○報酬（文化財保護審議会委員報酬）184千円 ○旅費（費用弁償）2千円 ○需用費（会議費）2千円				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査し審議会へ議案提案します。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	現在豊原寺仏像の調査を実施しています。次年度以降他のものについても体系的に調査します。
中長期的に取り組むべき改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査して審議会へ議案提案します。また委員のみでなく多くの有識者に指導を仰ぐことのできる環境を整えてまいります。
目標年度 平成35 年度	
取組状況	以前指定依頼があったものを中心に、現在仏像の調査をしています。今後古文書等の他の分野も調査していきます。現在は審議員に調査をお願いしているため、必要に応じ県内外の有識者に指導を仰いでいきます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	184 千円	207 千円	千円	千円				
		委託費	千円	千円	千円	千円				
		需用費	3 千円	2 千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	1 千円	1 千円	千円	千円				
		事業費合計	188 千円	210 千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.77 人	5,474 千円	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.77 人	5,474 千円	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,662 千円	921 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		5,662 千円	921 千円	千円	千円					
財源合計	5,662 千円	921 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	新たな文化財の指定、登録文化財の保護について審議していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	引き続き文化財保護審議会委員10名で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行ける改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査し審議会へ提案します。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	未指定となっている文化財について調査し審議会へ提案し、委員のみでなく多くの有識者に調査指導を受けることのできる環境を整えていきます。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	会議1回あたりの議案処理件数	目標値	2	達成率	2	達成率		
		実績値	1	50	1	50	1	100
活動	処理議案件数	目標値	4	達成率	4	達成率		
		実績値	3	75	2	50	1	100
活動	会議開催回数	目標値	2	達成率	2	達成率		
		実績値	3	150	2	100	4	133.33
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値						

事務事業名	文化財保存管理事業			事業コード	10050905101
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	堤 徹也
事業対象	市内の文化財 市が所有する文化財 市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	保存管理事業
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例 坂井市教育委員会文化課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

【指定文化財等管理事業】
市が所有・管理する史跡等の維持管理を行う。
○委託料 3,054,600円

【指定文化財補助事業】
指定文化財所有者に対し、管理奨励金を交付して適切な管理を支援する。
○報償費 35件 440,000円
無形文化財保持者・保持団体に補助金を交付して活動を支援する。
○補助金 8件 720,000円
指定文化財保存事業に対して、補助金を交付して事業を支援する。
○補助金 3件 1,392,000円

【旧森田銀行本店外壁及び内壁補修工事】
○工事請負費 18,014,400円
○設計監理委託料 788,400円

【文化財看板設置】
○5件（新規設置含む） 611,280円

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円		千円		千円		千円	
		委託費	3,210千円		4,530千円		千円		千円	
		需用費	394千円		275千円		千円		千円	
		役務費	152千円		146千円		千円		千円	
		その他	20,914千円		36,231千円		千円		千円	
		事業費合計	24,670千円		41,182千円		千円		千円	
	人件費	正職員	0.90人	6,325千円	0.50人	3,555千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.90人	6,325千円	0.50人	3,554千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	30,995千円		44,736千円		千円		千円	
		特定財源	117千円		22,983千円		千円		千円	
		国県支出金	千円		千円		千円		千円	
		使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
		分担金・負担金	千円		千円		千円		千円	
地方債		千円		千円		千円		千円		
その他		千円		10,379千円		千円		千円		
一般財源	30,878千円		11,374千円		千円		千円			
財源合計	30,995千円		44,736千円		千円		千円			

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	指定文化財の補助実施率	目標値	11	達成率	11	達成率	13	達成率
		実績値	8	72.73	8	72.73	11	100
成果	指定文化財の毀損・滅失による解除件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	0	---	0	---	0	---
活動	指定文化財の毀損等発生件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	5	---	0	---	1	---
活動	文化財の新規指定件数	目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値	0	---	0	---	0	---
活動	市有文化財等維持管理実施件数	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率
		実績値	10	100	10	100	10	100
活動	文化財補助金支出件数	目標値	11	達成率	11	達成率	11	達成率
		実績値	11	100	10	90.91	11	100

すぐにできる改善提案	発掘調査で出土した遺品について、1か所で保存・公開ができる場所を空き施設の有効活用とともに検討してまいります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	市の空き施設の利用について検討するとともに、資料台帳を利用して適切な保管に努めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世に伝えるために公開や活用を通して文化財保護の啓発を行います。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	26年度は旧森田銀行本店の外壁及び内壁の補修工事を実施し、瀧谷寺収蔵庫修理、客殿天井の修理に補助して文化財の保存整備を行いました。今後も経年劣化による破損も考慮しつつ、適切な保護を図っていきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	有形文化財の管理者について受益者の拡大を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	予算の範囲内で無形・有形文化財の補助金を交付し文化財の保護意識の啓発を行います。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	平成27年度より北陸新幹線及び高規格道路等の開発行為による発掘調査が始まる予定であり、六呂瀬山古墳の整備や丸岡城の発掘調査なども並行して行っていくこととなるため学芸員の増員を検討します。			
すぐにできる改善提案	発掘調査で出土した遺品について、1箇所ですべて保存管理・公開ができる場所を、空き施設の有効活用とともに検討していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世に伝えるために公開や活用を通して文化財保護の啓発を行います。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			事業コード	10050905111		
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	青山 航		
事業対象							
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	文化財保護法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。						
	周知の遺跡内で土木工事を行う場合に、試掘調査を実施し記録する。 ○賃金（発掘調査作業員賃金） 1,478千円 ○需用費（整理作業用具代等） 99千円 ○委託料（試掘調査掘削委託料） 1,546千円 （廃材処分委託料） 6千円 （丸岡城跡地形測量業務委託料） 3,348千円 （六呂瀬山古墳群測量） 1,172千円 ○使用慮及び賃借料（機材借上料） 173千円						

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	6,072	754						
		需用費	99	194						
		役務費								
		その他	173	130						
	事業費合計	6,344	1,078							
	人件費	正職員	0.72人	5,060千円	0.30人	2,133千円				
		臨時職員	0.59人	1,477千円	0.00人					
		人件費合計	1.31人	6,537千円	0.30人	2,133千円				
総事業費		12,881千円		3,211千円						
事業費	特定財源	国県支出金	2,000千円	1,500千円						
		使用料・手数料								
		分担金・負担金								
		地方債								
		その他								
	一般財源		10,881千円	1,711千円						
財源合計		12,881千円	3,211千円							

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	届出1件あたりの処理コスト	円	目標値								
			実績値	90910	---	16600	---	10127	---	6976	---
活動	調査面積	㎡	目標値	300	達成率	300	達成率	300	達成率	150	達成率
			実績値	657	219	732.35	244.12	572	190.67	200752	133834.7
活動	発掘届出件数	件	目標値	60	達成率	63	達成率	50	達成率	30	達成率
			実績値	62	103.33	45	71.43	63	126	43	143.33
活動	内容確認遺跡数	件	目標値	50	達成率	40	達成率	40	達成率	25	達成率
			実績値	52	104	40	100	51	127.5	32	128
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地内に存在する文化財が破壊されないように開発行為当時の届け出のホームページ、広報等を活用して周知徹底していきます。
目標年度 平成30年度	
取組状況	ホームページ上で公開しています。今後さらに分かりやすくしていきます
中長期的に取り組むべき改善提案	市内遺跡の範囲確認で出土した遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。
目標年度 平成35年度	
取組状況	今年度は丸岡城発掘調査に際し現地説明会を実施しました。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開発行為による埋蔵文化財の破壊や紛失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と円滑な調整を事業の周知徹底により図っていきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限活用してPRに努め実施していきます。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開発行為等での試掘調査が増えていることから増員し実施していきます。			
すぐに行ける改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地内に存在する文化財が破壊されないように開発行為時の届け出をホームページ、広報等を活用して周知徹底していきます。			
目標年度 --年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市内遺跡の範囲確認で出土した遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。			
目標年度 --年度				

成果	届出1件あたりの処理コスト	円	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	90910	---	16600	---	10127	---	6976	---
活動	調査面積	㎡	目標値	300	達成率	300	達成率	300	達成率	150	達成率
			実績値	657	219	732.35	244.12	572	190.67	200752	133834.7
活動	発掘届出件数	件	目標値	60	達成率	63	達成率	50	達成率	30	達成率
			実績値	62	103.33	45	71.43	63	126	43	143.33
活動	内容確認遺跡数	件	目標値	50	達成率	40	達成率	40	達成率	25	達成率
			実績値	52	104	40	100	51	127.5	32	128
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	丸岡城周辺整備基金			事業コード	13020900101		
所管部署	文化課	電話		記入者名	下口 栄子		
事業対象							
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	地域が一体となったもてなしのまちづくり			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	丸岡城周辺整備基金条例					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置します。						
	丸岡城周辺整備基金の管理 平成26年度末現在 基金残高19,005千円						
事業の目的・事業の概要等							

すぐのできる改善提案	基金の趣旨・目的に合った事業において、市の財源運営方針に基づき活用していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	基金の設置目的を踏まえた運用を行っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	丸岡城周辺整備基金費					
		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	153千円	30,205千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費合計	153千円	30,205千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費	正職員	0.02人	142千円	0.02人	142千円	人	千円	人	千円	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	千円
		人件費合計	0.02人	142千円	0.02人	142千円	人	千円	人	千円	千円
		総事業費	295千円	30,347千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他	153千円	30,205千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	142千円	142千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	財源合計	295千円	30,347千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
すぐのできる改善提案	基金の趣旨・目的に沿った達成・運用について継続していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
年度末基金残高		円	目標値								
			実績値	19005226	---	132652652	---				
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】